

健康・医療WGにおける検討の視点と主な論点

健康医療WGでは、「安心して子育てをできるようにすると同時に、病気や介護を予防し、健康を維持して長生きしたい」との国民のニーズに応え、世界に先駆けて「健康長寿社会」を実現するため、規制改革を行ううえでの4つの視点を定めた。第二クールについても、引き続き4つの検討の視点にたって、より中長期的な視点を見据えた抜本的な規制改革を進めていく。

<4つの視点と主な論点> ◎：優先項目、◆：継続項目

1. 患者の利益に適う最先端の医薬品・医療機器の早期提供

◎保険診療と保険外診療の併用療養制度 【本会議】

◎医薬品に係る治験前臨床試験の有効活用

2. 安定的かつ持続可能な医療・介護・保育サービスの提供体制の再構築

◎介護、保育事業における経営主体間のイコールフットィング確立【本会議】

○医療機関の業務・ガバナンス等の見直し

○看護師等の業務範囲や業務実施体制の見直し

3. ICTの推進等による効果的・効率的な医療・介護・保育サービスの在り方の見直し

◎◆レセプト帳票の見直しなど分析可能なデータの整備

◎◆保険者による直接審査の推進

◎◆支払基金と国保連の役割分担の見直し

4. 国民のニーズの多様化に応える医療・介護・保育サービスの提供等

○セルフケア領域に適する医療用検査薬等の見直し

○在宅医療・在宅介護における開設要件等の見直し

以上